

シリーズ「事例から学ぶ59」

緑を守る会

小山市立萱橋小学校 教諭 篠原 元樹

本校は、広い校庭にたくさんの木々が植えられ、豊かな緑に囲まれています。多くの木々がありますが、それは学校が作られる際に、地域の造園業を営んでいる方から、「自らの木」として寄付されたものです。



本校の地域連携の大きな活動の1つが「緑を守る会」です。「緑を守る会」は、会員の皆さんが1年に1回、校庭の木々の剪定を行う活動です。会員の方の中には親の代から45年もの間、手入れを続けてくださっている方もいます。1本の松の木を剪定するのも朝から夕方までかかり、その姿はまさに職人技です。保護者や教職員も枝を拾ったり道具を片付けたりとお手伝いをします。

子どもたちは休み時間になると、きれいに整備された校庭の木の下で元気に遊び回っています。豊かな自然と美しい木々が子どもたちの心の成長の土台となっています。このようにたくさんの地域の方に支えられている萱橋小学校です。



リレー「となりの社教主事50」

学んで楽しい！

小山市立博物館 指導主事 十市 祐輔

何を学ぶのだろう？社会教育って何？不安だらけで始まった社教主事講習。学校だけが学びの場ではないこと、「つながり」の大切さ、対話・熟議の重要性、本当に多くのことを学び、視野を広げることができました。学んだことを生かして自分の学校でいろいろ挑戦してみよう！そう思っていた矢先の異動…。

現在は博物館で勤務しています。博物館はまさに社会教育の場！学校への出前授業や博物館講座、自治会や公民館等での出前講座や「ほっしー号」での天体観望会などを担当し、さまざまな年代の方々の学びに関わっています。参加者の方々とともに自分自身もたくさんの学びがあります。いろいろな方々とつながって、知らないことを知る。「学んで楽しい！」そう感じる瞬間がたくさんあります。この学ぶ楽しさを少しでも多くの人に伝えていきたいです。

生涯学習研究会第1回研修会報告

11月26日（金）、栃木市国府公民館にて、令和3年度下都賀地区生涯学習研究会第1回研修会を開催しました。

前半は、壬生町社会教育委員の会議の松山 美由紀氏と壬生町教育委員会事務局生涯学習課の高橋 唯拓氏から「放課後学習サポート事業」について、また、とちぎ高校生蔵部の代表である 吉谷 悠樹氏と栃木市教育委員会事務局生涯学習課の落合 崇氏から「とちぎ高校生蔵部の取組」について事例発表していただきました。後半は、國學院大学人間開発部子ども支援学科准教授の青木 康太朗氏より「自己肯定感を高める子どもの頃の体験や大人の関わり～学校・家庭・地域でできることは何か？～」と題してご講話いただきました。

参加者からは「地域での取組が様々あることがわかり、自分の勤めている地域ではどんなことをやっているのか調べてみたい。」「子ども×地域×学校→多くの化学変化が起きそうでワクワクです。」「子どもの自己肯定感を高めるためには大人目線ではなく、子ども目線で関わり、ほめて、認めていくことが大切であるということが勉強になりました。」等の感想が寄せられました。

ご案内

生涯学習研究会
第2回研修会
下都賀地区
ふれあい学習ネットワーク

- ◆日時 令和4年2月3日（木）
13:30～16:30
- ◆会場 城址公園ホール
(壬生中央公民館)
- ◆対象 社会教育主事有資格者
地域連携教員 他
- ◆申込み 所属長あての別送付
開催案内により、お申し込みください。



発行 下都賀地区生涯学習研究会
事務局 下都賀教育事務所ふれあい学習課内

TEL 0282-23-3422 / FAX 0282-23-3502
E-mail shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp